

教科目名 歴史学特論Ⅰ (Special Lecture on history Ⅰ)

専攻名・学年 : 全専攻1年 (教育プログラム 第3学年 ◎科目)

単位数など : 必修 2単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 田中美穂

授業の概要			
中世ヨーロッパ世界について講義する。教会や修道院といった聖なる空間、および王や貴族、都市の住人や農民たちが暮らす世俗社会について、毎回テーマを決めて取り上げる。中世のさまざまな史料、教会・修道院・城などをあつかった映像資料なども紹介しつつ、授業を進めていきたい。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1), JABEE目標(a)	
(1) 中世ヨーロッパの歴史を学ぶ上で欠くことのできない、キリスト教一般に関する事柄について知識が得られる(定期試験)。 (2) 現在の世界にも継承されているヨーロッパのさまざまな文化や芸術について理解できる(定期試験)。 (3) 講義内容から選んだ歴史的なテーマについて考え、論述する力を身につける(定期試験)。			
回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1	旧約聖書の世界	○キリスト教に関する基本的な事柄が理解できる。 ○中世ヨーロッパの歴史の流れが理解できる。 ○中世ヨーロッパ世界とキリスト教との関わりについて理解できる。	【理解の度合い】
2	新約聖書の世界		
3	さまざまな聖人について		
4	中世史(1)キリスト教世界の拡大		
5	中世史(2)ヨーロッパ諸国の成立		
6	中世に生きる人々		
7	教会と修道院(1)		
8	教会と修道院(2)	○キリスト教を基盤とした中世ヨーロッパの文化や芸術について理解できる。 ○中世ヨーロッパ社会のしくみについて理解できる。 ○中世ヨーロッパの世俗社会について理解できる。	
9	さまざまな教会建築		
10	聖地巡礼		
11	中世のキリスト教美術		
12	城と騎士		
13	中世の都市		
14	中世の文学		
15	前期期末試験 前期期末試験の解答と解説		【試験の点数】 点
履修上の注意			
履修上の注意	講義中に話す内容について、各自でしっかりノートまとめをすること。		【総合達成度】
教科書	毎回、レジュメや資料を提供する。		
参考図書	毎回、授業で紹介する。		
事前準備学習	世界史の古代・中世ヨーロッパの部分の復習しておくこと。		
関連科目	歴史学特論Ⅱ(専攻科1年)、歴史学概説(5年)、世界史(2年)。		
総合評価	期末試験の点によって評価するが、欠課は減点の対象となる。総合評価が60点以上を合格とする。		
			【総合評価】 点